

訓練励む災害救助犬

15都府県の32頭 朽木のゴルフ場で

高島

被災地に急行して生存者頭が開催。宮城、京都、の発見などに活躍する災害救助犬の雪山搜索訓練が18日、高島市朽木宮前坊の朽木ゴルフ倶楽部内で行われた。NPO法人「災害救助犬ネットワーク」(本部・富山市、会

員104人・認定犬50頭)が開催。宮城、京都、山口など全国15都府県から32頭が参加し2泊3日、高島市朽木宮前坊の朽木ゴルフ倶楽部内で行われた。NPO法人「災害救助犬ネットワーク」(本部・富山市、会

は再び試験に合格する必要がある。このため、雪山を含め年3回、犬の訓練会を開催している。この日、山間のゴルフ場には1メートル近くの雪が積もり、犬は半ば埋まりながら、人間のおいをたどって、遭難者に見立てた人を探し出していた。

青森市からラブラドルレトリバーと参加した岩本良二さん(62)は青森県警を定年退職後、救助犬活動に加わり、北東北捜索犬チーム(11頭)の代表に。岩本さんは「東日本大震災では岩手県の被災地に犬と入った」と話し、雪中の訓練に励んでいた。

青森市からラブラドルレトリバーと参加した岩本良二さん(62)は青森県警を定年退職後、救助犬活動に加わり、北東北捜索犬チーム(11頭)の代表に。岩本さんは「東日本大震災では岩手県の被災地に犬と入った」と話し、雪中の訓練に励んでいた。

【塚原和俊】

雪山搜索訓練で「遭難者」を発見し、ご褒美をくわえて出てきた災害救助犬
—高島市の朽木ゴルフ倶楽部で

読売新聞
2012.2.23

災害救助犬 厳寒の訓練

高島

災害現場で人命救助を行う災害救助犬のレベル向上を図ろうと、冬山遭難を想定した救助訓練が、雪で閉鎖中の高島市朽木宮前坊の朽木ゴルフ倶楽部で、3日間に行われた。

NPO法人「災害救助犬ネットワーク」(本部・富山市)が年3回行う定期訓練の一つで、県内では初めての実施。15都府県から参加したレトリバー種やシェパード、アイリッシュコーギーなど32頭が参加した。大半が、東日本大震災の被災地で活動した犬で、激しい雪が吹き付ける中、雪原でのおいをたどり、白い板などの陰に身を隠した遭難者役を探し出した。



飼い主と一緒に、冬山の遭難救助の訓練をする災害救助犬(高島市朽木宮前坊の朽木ゴルフ倶楽部で)

「定期的に訓練をしないと、搜索する能力などが衰えるが、東北では震災後、訓練の機会が減ってしまった。基本から鍛え直したい」と話していた。

大震災で被災した岩手県陸前高田市での合同捜索に参加した柴犬ミミ(雌11歳)と甲斐犬モコ(雌6歳)の飼い主で、宮城県大郷町の会社員高橋比俊さん(53)は